

# 京都ならではの首都機能バックアップについて

【担当省庁】内閣官房、宮内庁、国土交通省、観光庁、  
文部科学省、文化庁、国立国会図書館

京都府・京都市共同提案

## 双京構想の実現

日本の大切な皇室の弥栄のために、皇族の方に京都にお住まいいただくことを願う「双京構想」を政府として検討していただきたい。

京都府・京都市共同提案

## 文化庁・観光庁の京都移転

我が国の文化財の宝庫である京都から、日本文化のすばらしさを一層戦略的に発信するため、京都に文化庁を移転していただきたい。

国内外への情報発信力を飛躍的に高め、観光立国を加速させるため、京都に観光庁を移転していただきたい。

## 国立国会図書館関西館の機能強化のための所蔵資料のデジタル化の促進

国立国会図書館資料のデジタル化を更に促進し、国立国会図書館関西館と本館との連携強化を図っていただきたい。

### < 現状・課題等 >

京都の未来を考える懇話会 ～京都ビジョン 2040～（抜粋）平成 25 年 5 月 31 日

### 世界の文化首都・京都

皇族の方を京都に迎え、日本文化の裾野を京都から拡大し、多様な人材が活躍する文化のまち

双京構想の実現（皇室の弥栄のために、京都にも皇族の方にお住まいいただき、東京との双京を実現する）

日本文化の中核都市（文化庁、観光庁の機能を担い、日本文化の継承と発展を支え、観光分野でも日本をけん引する）

京都の未来を考える懇話会

京都の行政、産業、大学、文化芸術、メディアの代表が、「30年後の京都のありたい姿」について語り合い、オール京都で府民・市民と一緒に目指したい京都の未来像を描くことを目的として設けた懇話会

構成メンバー

山田 啓二（京都府知事）

門川 大作（京都市長）

立石 義雄（京都商工会議所会頭/京都商工会議所連合会会長）

松本 紘（京都大学総長）

柏原 康夫（京都府観光連盟会長/京都市観光協会会長）

池坊 由紀（華道家元池坊次期家元）

白石 方一（京都新聞ホールディングス代表取締役社長）

国立国会図書館所蔵資料のデジタル化の状況（平成 24 年 3 月末）

資料種別	所蔵数 (A)	デジタル化 実施済み (B)	デジタル化 未実施(A - B)	実施割合 (B/A)
古典籍	29 万冊	9 万冊	20 万冊	1 / 3
和図書	436 万冊	90 万冊	346 万冊	1 / 5
和雑誌	461 万冊	112 万冊	349 万冊	1 / 4
博士論文	39 万冊	14 万冊	25 万冊	1 / 3
合 計	965 万冊	225 万冊	740 万冊	1 / 4

【京都府の担当部局】

政策企画部	戦略企画課	075-414-4334
文化環境部	文化政策課	075-414-4239
商工労働観光部	観光課	075-414-4841